

東京医科大学 物理

2023年 2月8日実施

【物理（解答）】

第1問

□1 ⑦ □2 ⑦ □3 ④ □4 ⑤

第2問

□5 ⑪ □6 ⑩ □7 ⑦

第3問

□8 ③ □9 ⑩ □10 ⑤ □11 ⑧ □12 ③

第4問

□13 ⑦ □14 ⑤ □15 ③ □16 ⑤

第5問

□17 ⑧ □18 ⑧ □19 ①, ④

第6問

□20 ④ □21 ③ □22 ⑧ □23 ⑫ □24 ⑧ □25 ⑪

第7問

□26 ① □27 ⑥ □28 ① □29 ④

第8問

□30 ①, ③ □31 ④

【物理（講評）】

第1問「非等速円運動と放物運動」

落ち着いて立式すれば解けるが、試験場では難しく感じるだろう。序盤の間では、B点での運動方程式と、B点からO点に達するための等加速度運動の式を連立すればよい。

第2問「ケプラーの法則」

立式は難しくないが処理がやや重い。

第3問「非線形抵抗」

問1は解いた経験の有無で差が付く。問2～問4は、先に電球 L_1 の電圧と電流を求めればよい。

第4問「音源が円運動するドップラー効果」

典型問題。ミスなく完答したい。

第5問「薄膜干渉」

見慣れない設定が入るがそこまで難しくない。

第6問「熱サイクル」

典型問題。問5は、B→Cの途中における吸熱から放熱への転換を考慮せずに解答した。

第7問「光電効果」

数値計算が重いが完答したい。

第8問「水素原子のスペクトル」

バルマー系列が可視光領域にあることを知っていれば作業量が減る。

【総評】

昨年比べて大幅に難化。問題の難易度が上がり、分量は試験時間内に処理しきれものではなくなった。どの問題に手を付けるかで得点に差が付くだろう。正規合格ラインは「6割」、一次合格ラインは5割程度ではないか。

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校
YMS

03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録またはLINE友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE登録

